

平成26年3月期 第1四半期決算について

平成25年8月

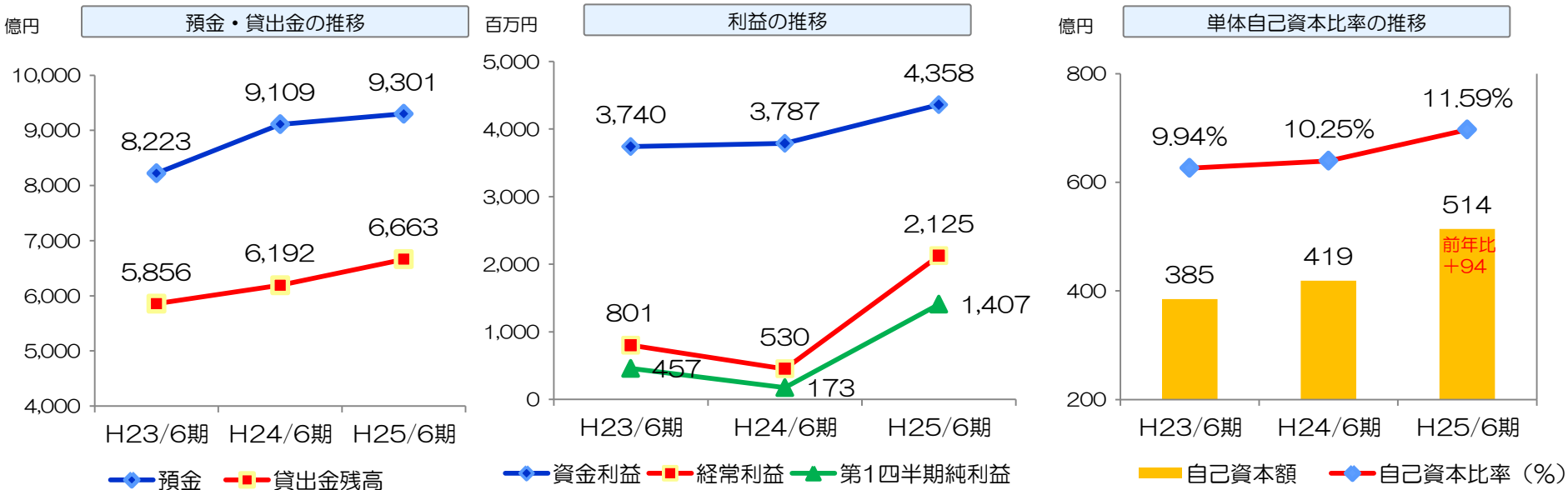
西京銀行

●業績ハイライト（単体）	……	2
●損益の状況	……	3
●資金利益の状況	……	4
●貸出金の状況	……	5
●預金と預り資産の状況	……	6
●有価証券運用	……	7
●不良債権の状況	……	8
●自己資本比率の状況	……	9
●中計期間中の数値目標と経過実績	……	10

業績ハイライト（単体）

当行では、平成24年4月にスタートいたしました中期経営計画～一人でも多くのお客さまに『さすが西京のサービス』を～（計画期間：平成24年4月～平成27年3月）に基づき各施策へ積極的に取組んだ結果、預貸金の順調な増加により、経常収益は前年同期比14億65百万円増加し、72億79百万円となりました。また、第1四半期純利益は前年同期比12億34百万円増加し、14億7百万円となりました。

- 預金残高は、山口県・広島県・福岡県の地元を中心に前年同期比191億円増加し、9,301億円（増加率2.1%）となりました。貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出を中心に前年同期比471億円増加し、6,663億（増加率7.6%）となりました。
- 預貸金の順調な伸びを背景に、銀行の本業である資金利益は前年同期比5億71百万円増加し、43億58百万円（増加率15.0%）となりました。
- 単体自己資本比率は、前期末比1.05ポイント増加して11.59%（前年同期比+1.34ポイント）となりました。



損益の状況



【単体】

(単位：百万円)

	平成26年3月期 第1四半期 (3カ月間)	前年同四半期比	平成25年3月期 第1四半期 (3カ月間)
経常収益	7,279	1,465	5,814
業務粗利益	4,366	282	4,083
資金利益	4,358	571	3,787
役務取引等利益	△ 171	87	△ 258
その他業務利益	179	△ 376	555
国債等債券損益	(243)	(△ 375)	(618)
経費(除く臨時処理分)	2,733	20	2,713
一般貸倒引当金繰入額	△ 169	△ 169	-
業務純益	1,802	432	1,370
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,632	262	1,370
コア業務純益(除く国債等債券損益)	1,389	637	751
臨時損益	323	1,163	△ 840
不良債権処理額	303	303	-
個別貸倒引当金繰入額	297	297	-
株式等関係損益	693	1,524	△ 830
経常利益	2,125	1,595	530
特別損益	△ 2	3	△ 5
減損損失	-	△ 2	2
税引前四半期純利益	2,123	1,598	524
法人税、住民税及び事業税	84	△ 157	242
法人税等調整額	630	522	108
四半期純利益	1,407	1,234	173

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

経常収益 前年同期比14億65百万円増収

● 経常収益は、貸出金利息の増加(+23百万円)、有価証券利息配当の増加(+4億75百万円)による資金運用収益の増加を主因に、前年同期比14億65百万円増加し、72億79百万円となりました。

業務粗利益 前年同期比2億82百万円増益

● 業務粗利益は、資金利益の増加(+5億71百万円)役務取引等利益が増加(+87百万円)、により、前年同期比2億82百万円増加し、43億66百万円となりました。

コア業務純益 前年同期比6億37百万円増益

● 銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、業務粗利益の増加(+2億82百万円)を主因に、前年同期比6億37百万円増加し、13億89百万円となりました。

経常利益 前年同期比15億95百万円増益

● 経常利益は、株式関係損益が改善(+15億24百万円)したことから、前年同期比15億95百万円増加し、21億25百万円となりました。

四半期純利益 前年同期比12億34百万円増益

● 四半期純利益は、前年同期比12億34百万円増加し、14億7百万円となりました。

資金利益の状況

◆銀行の本業である資金利益は順調に推移しております。

資金利益の推移

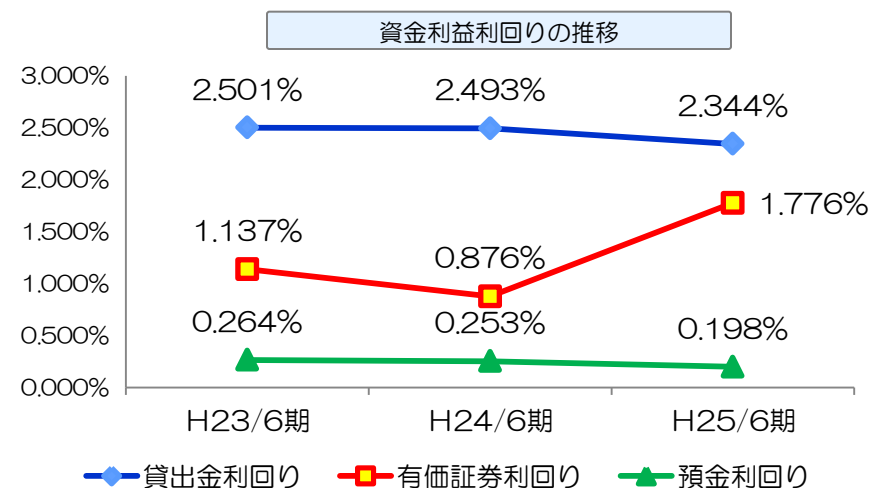
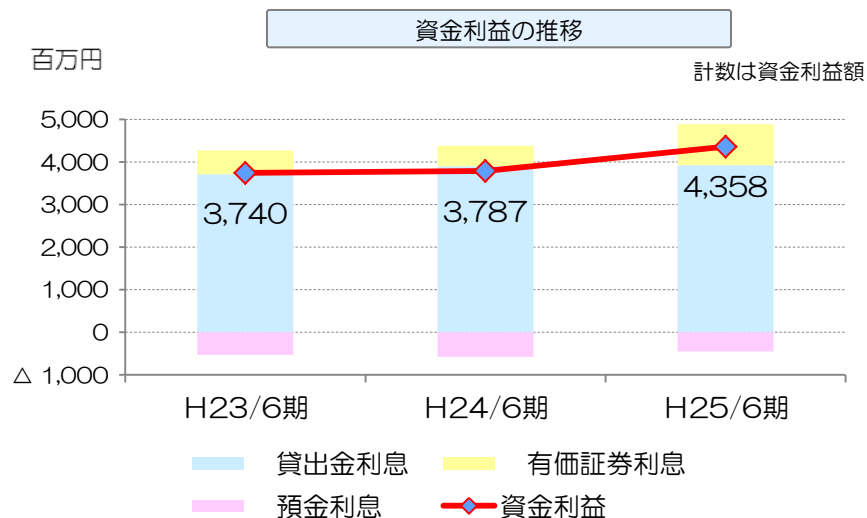
単位：百万円

	H23/6期	H24/6期	H25/6期
資金利益	3,740	3,787	4,358
貸出金利息	3,711	3,898	3,922
有価証券利息	556	487	962
預金利息	528	574	450

資金利益の利回り推移

単位：%

	H23/6期	H24/6期	H25/6期
貸出金利回り	2.501	2.493	2.344
有価証券利回り	1.137	0.876	1.776
預金利息利回り	0.264	0.253	0.198

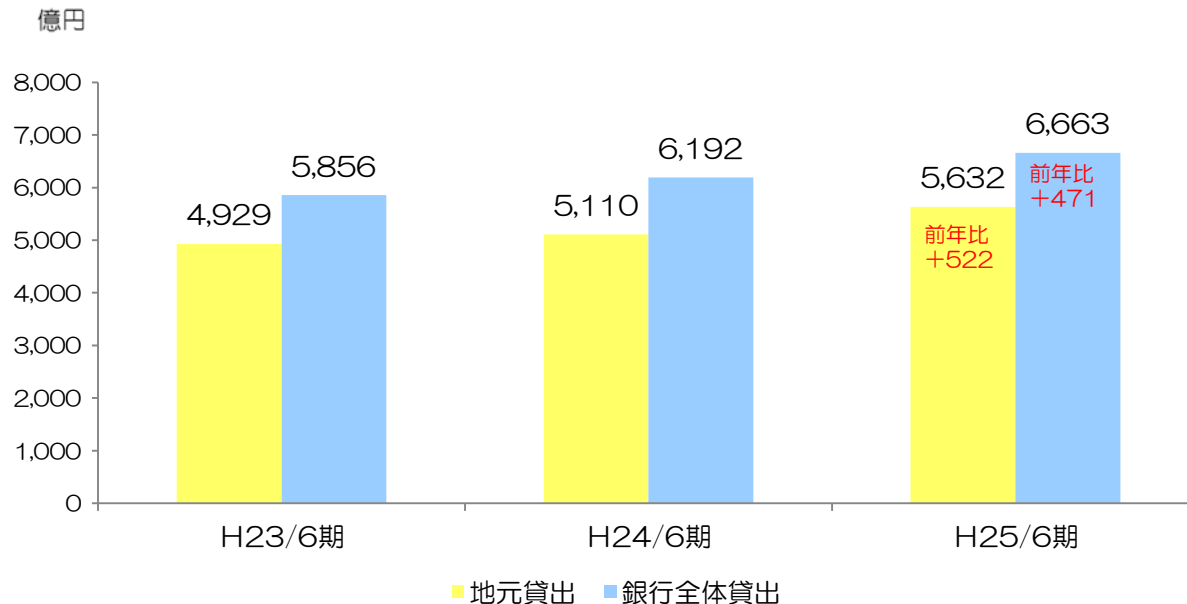


貸出金の状況 ～地域とともに～

- ◆貸出金は、地元中小企業向け・個人向け貸出に積極的に取組み、前年同期比471億円増加しました。
- ◆当行では、地域の皆さまからお預りした大切な預金を、資金を必要とされる地域の事業者さまや個人のお客さまに、借入金としてお使い頂く「**資金の地域内循環**」を進めております。今後も地元中心に積極的な地域内循環を進める方針です。
- ◆地元（山口県・広島県・福岡県）の貸出金残高は、5,632億円となり、前年同月比522億円増加し、総貸出金の84.5%を占めています。

地元*・銀行全体貸出金残高の推移

地元*（山口県・広島県・福岡県）

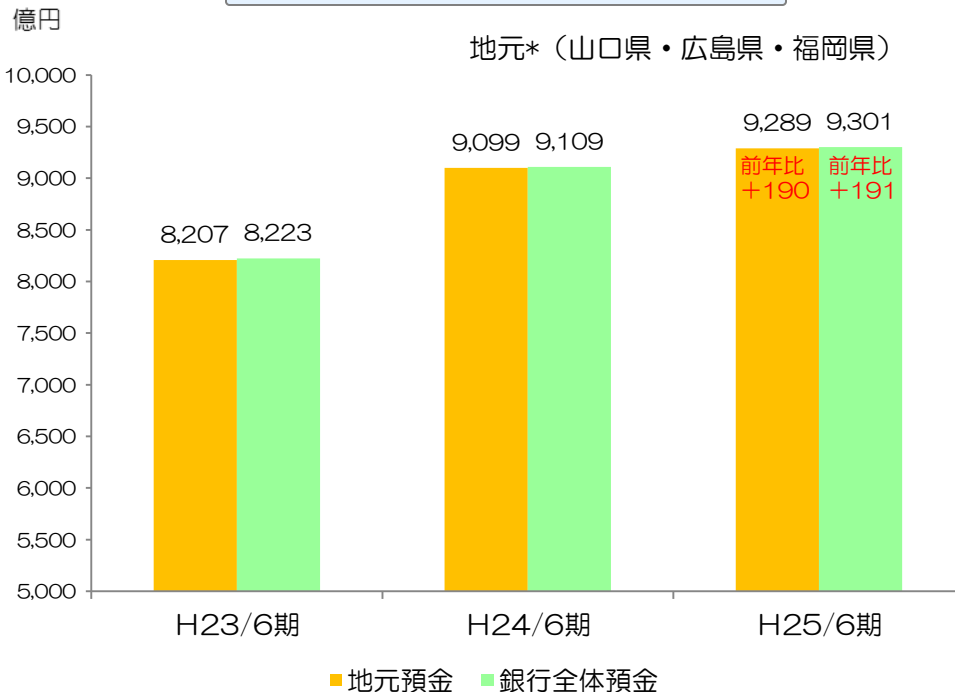


預金と預り資産の状況

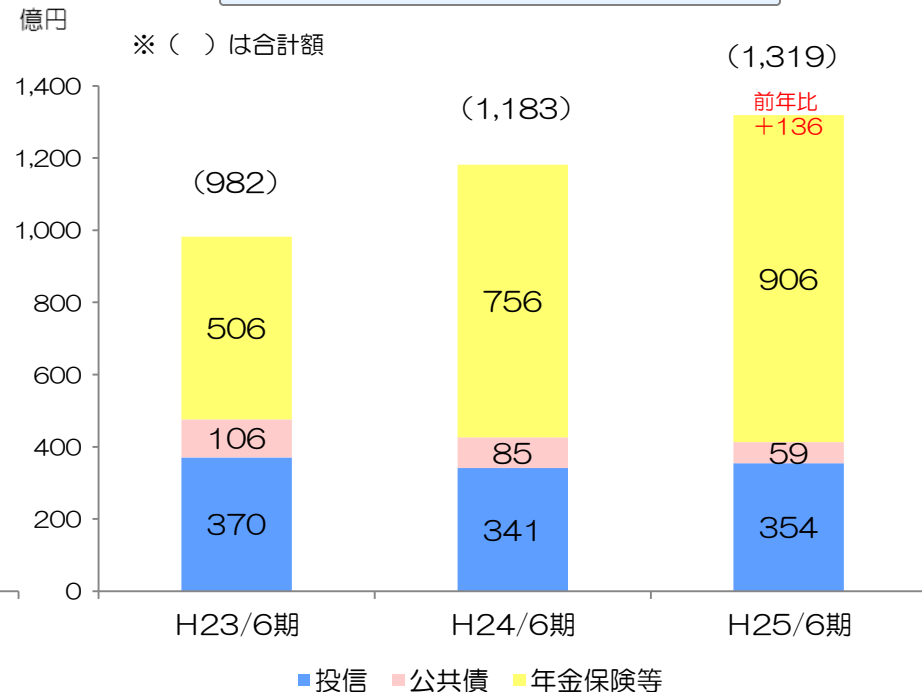
- ◆預金については、「復興支援定期預金」や「新型年金定期預金」等がご好評をいただき、残高は前年同期比191億円増加しました。中期経営計画の目標でもあります“預金量1兆円”に向けて、預金量は順調に推移しております。
- ◆また、地域のお客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするため、全13ヶ所のマネープラザを拠点に専門スタッフがきめ細かく対応することで、預り資産残高は、前年同期比136億円増加しました。

地元*・銀行全体預金残高の推移

地元*（山口県・広島県・福岡県）



預り資産残高の推移



◆有価証券評価損については、重要な経営課題として計画的な圧縮に取り組んだ結果、平成24年3月期に含み損を一掃しております。当四半期には、評価益が前年同期比85億円増加しました。

《有価証券残高推移》

単位：億円

	H23/6期	H24/6期	23/6期比	H25/6期	24/6期比
有価証券	1,851	2,146	295	2,258	112
国債	1,068	1,106	38	1,116	10
地方債	181	242	61	333	90
社債	92	244	151	347	103
株式	100	98	△1	143	44
外国証券	167	230	62	167	△62
その他証券	240	223	△17	149	△74

《その他有価証券評価損益推移》

単位：億円

	H23/6期	H24/6期	23/6期比	H25/6期	24/6期比
有価証券	△33	10	43	96	85
株式	△32	△4	27	66	70
債券	20	34	14	16	△18
外国証券	1	1	0	1	△0
その他	△23	△22	0	11	34

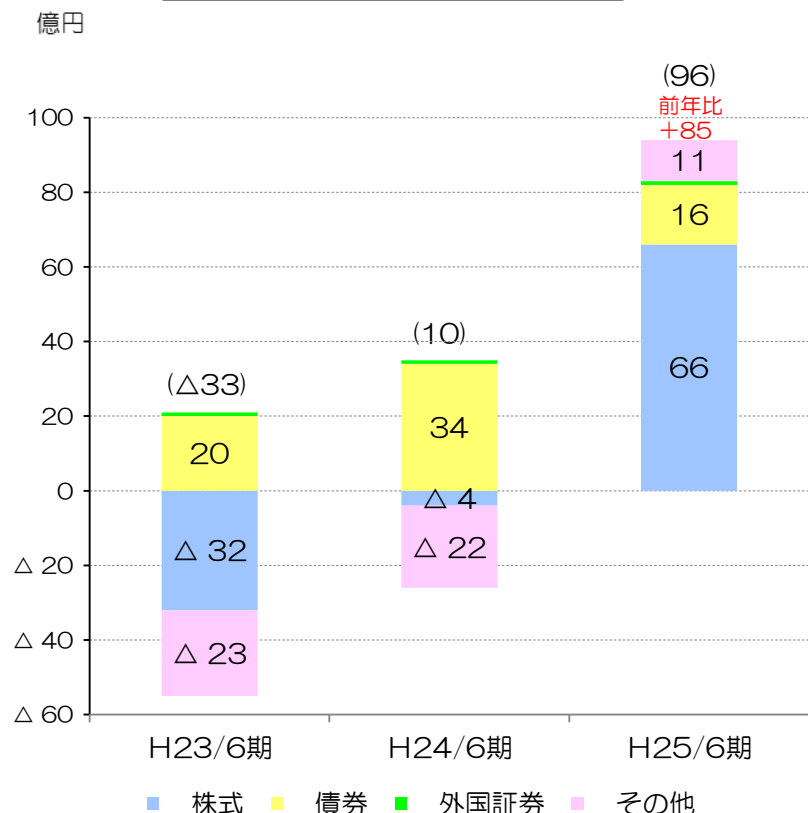
《その他有価証券（国内債券）修正デュレーション推移》

単位：年

H23/6期	H24/6期	H25/6期
4.874	4.596	4.136

《その他有価証券評価損益の推移》

※（ ）は合計額



不良債権の状況

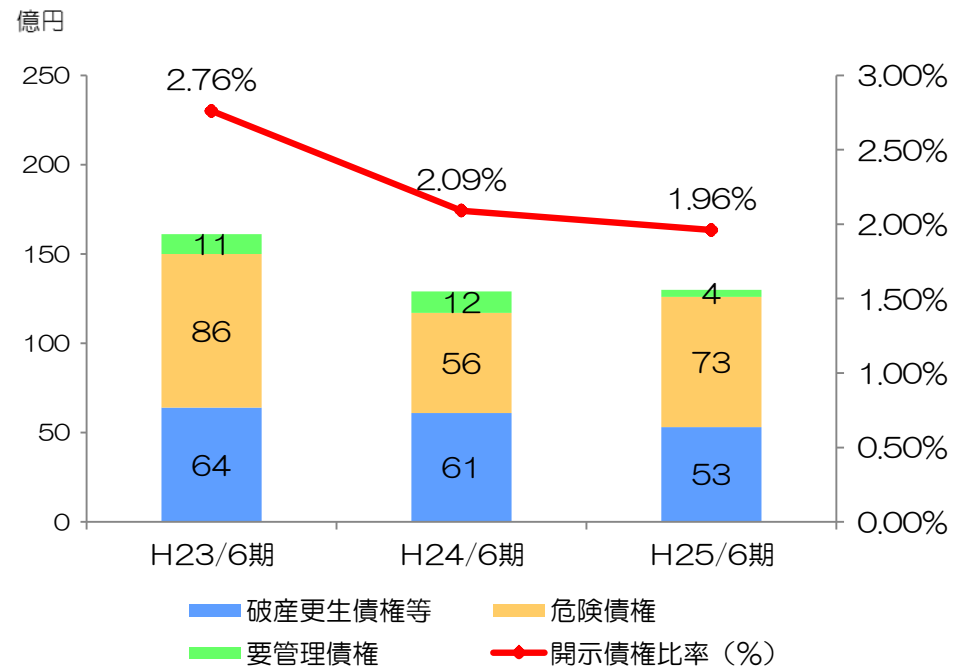
◆金融再生法基準での開示債権比率は、前年同期比0.13ポイント低下し、1.96%となりました。

《金融再生法開示債権推移》

単位：億円

	H23/6期	H24/6期	23/6期比	H25/6期	24/6期比
破産更生債権等	64	61	△2	53	△8
危険債権	86	56	△30	73	17
要管理債権	11	12	0	4	△7
開示債権合計	162	130	△32	131	1
正常債権	5,726	6,092	365	6,562	470
開示債権比率 (%)	2.76	2.09	△0.67	1.96	△0.13
貸倒引当金	38	19	△19	20	1
担保・保証等	111	98	△12	97	△1
保全率 (%)	92.14	90.92	△1.22	90.04	△0.88

金融再生法開示債権額と不良債権比率の推移



自己資本比率の推移

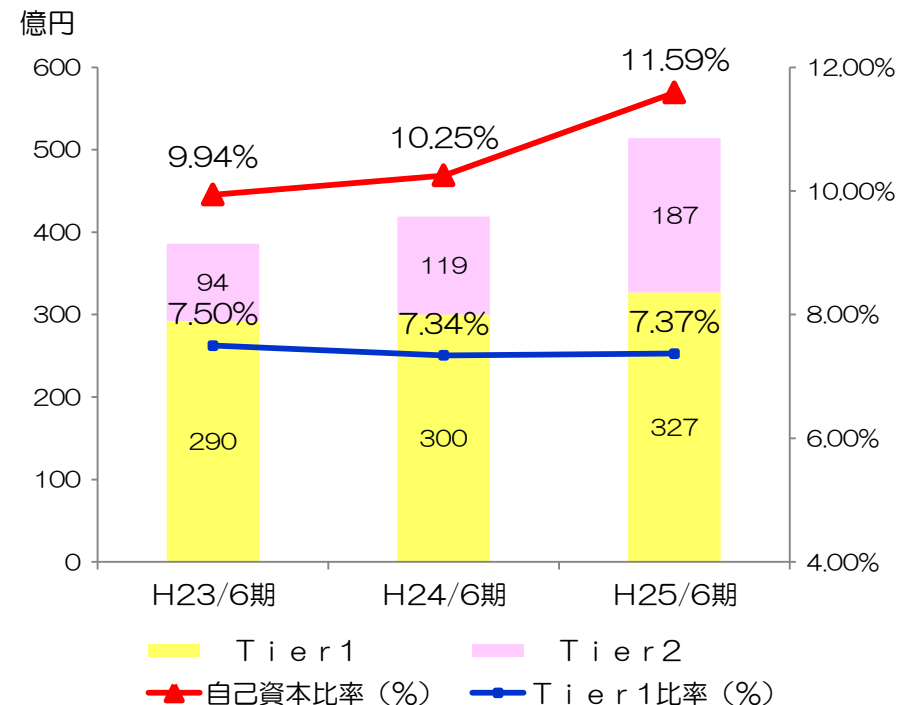
- ◆単体自己資本比率（国内基準）は、前年同期比1.34ポイント増加し、11.59%となりました。
- ◆普通株式や内部留保としてコアとなる自己資本額（=Tier1）は、前年同期比26億円増加しており、今後も利益確保による積上げを行う方針です。

《自己資本比率の推移》

単位：億円

	H23/6期	H24/6期	23/6期比	H25/6期	24/6期比
自己資本	385	419	34	514	94
Tier1	290	300	9	327	26
Tier2	94	119	24	187	68
負債性資本	60	90	30	159	69
リスクアセット	3,875	4,094	219	4,438	344
自己資本比率 (%)	9.94	10.25	0.31	11.59	1.34
Tier1比率 (%)	7.50	7.34	△0.16	7.37	0.03

自己資本およびリスク・アセット等（単体）の推移



中計期間中（平成24年4月～平成27年3月）の計数目標と経過実績



- ◆平成24年4月からの3年間の中期経営計画期間において、「3つの挑戦」と計数目標を定めております。
- ◆実績は順調に推移しており、より多くのお客さまから選ばれ、地域のシェアを高めるために、①「預金量1兆円以上」③「新規融資事業所開拓3千件以上」については、**目標を上方修正し今年度中の達成を目指します。**
- ◆アベノミクス効果の浸透に伴う景気回復局面での地元の資金需要拡大に積極的にお応えするため、**⑥貸出金残高7,000億円以上**、**⑦預貸率70%以上**を新たな計数目標として追加いたしました。
- ◆いずれの計数目標も計画を上回るペースで順調に進捗しています。

項目	H25/3期目標		H26/3期目標		
		H25/3実績		H25/6実績	
3つの挑戦	① 預金量1兆円以上	9,200億円	9,475億円	1兆円	9,301億円
	② 預金のお客さま純増3万件以上	1万件	1万2,088件	2万件	1万6,267件
	③ 新規融資事業所開拓3千件以上	1,000件	1,915件	3,000件	2,360件
計数目標	④ コア業務純益	45億円	47億円	50億円	13億円
	⑤ 自己資本比率	9.50%	10.54%	9.50%	11.59%
追加目標	⑥ 貸出金残高	—	6,652億円	7,000億円	6,663億円
	⑦ 預貸率	—	—	70%以上	72.60%

※ コア業務純益 … （資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益） - 経費 - 国債等債券関係損益